

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493800138	事業の開始年月日	平成21年10月1日
		指定年月日	平成21年10月1日
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター 横浜南山田		
所在地	(〒224-0026) 横浜市都筑区南山田町3969		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		エッセ	2エッセ
自己評価作成日	平成26年7月14日	評価結果 市町村受理日	平成26年11月18日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>地域密着サービスを元に、風通しの良い環境づくりをしています。地域住民との交流や、近隣施設の連絡会や勉強会になるべく参加し、地域連携の強化に努めています。</p> <p>職場内環境に関しては、職員間の連携強化に関して、努力しています。毎日の申し送りを行ったり、職員同士や、職員から管理者に対して意見や相談等が気軽に出来る雰囲気作りをしたり、働きやすい環境を作り取り組みをおこなっています。</p> <p>ご利用者様に関しては、個人の尊重と安全を重視し、スタッフ主導ではなく、ご利用者様本位の介護を心がけ、日々の関わりを持っています。</p>
--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成26年8月11日	評価機関 評価決定日	平成26年10月24日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>【事業所概要】 この事業所は、横浜市営地下鉄グリーンライン東山田駅から徒歩5分、幹線道路の交差点近くに立地している。周囲は、配送センターや中小事業所、民家が点在しているが、割合と静かな環境である。建物は、鉄骨造りの2階建てで、内部は明るく、バリアフリー設計になっている。</p> <p>【職員全員で作る介護計画】 事業所では、全職員に対して、カンファレンスの一週間前までに「短期目標の達成状況」「気づき」「全体として話し合っほしいこと」について、文書で提出することを宿題としている。この作業は、検討課題が明確になり、効率的なカンファレンスの開催に役立っている。また、意見を出しやすい環境も作っている。ケアマネジャーは、話し合った結果をもとに、利用者、家族の希望を踏まえ、医師の意見を参考にして、現状に即した介護計画を作成している。職員が介護計画の作成に携わったことで、利用者個々の目標やサービス内容についての理解が深まり、統一したサービスを提供することができている。</p> <p>【家族との関係づくり】 家族会は、運営推進会議や行事に合わせて開催し、多くの家族に足を運んでもらい、一同に会する機会を作っている。ケアマネジャーは、毎月家族に宛てて、事業所からの連絡事項、利用者の月間予定、日頃の様子を記した「近況報告書」を送付している。利用者が発した言葉をそのままを引用するなど、暮らしぶりが家族によく伝わるよう工夫されている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安無く過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

事業所名	ニチイケアセンター 横浜南山田
ユニット名	きらめき

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日の朝礼時にニチイ学館の社是の唱和を行っています。	法人の社是、経営理念を事務室に掲示し、朝礼時に唱和している。各ユニットリーダーが、ケアにおいて注意すべき点を、月毎の目標に定め、サービスに活かしている。	理念は、その事業所がめざすサービス、常に立ち戻る原点を言語化したものです。管理者、職員が話し合い、事業所独自の理念を作成し、日々のサービスに反映されることを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年、町内会に参加し、地域との交流に努めています。町内会の文化部の方に毎年、夏の盆踊りのイベントに関して協力を依頼し、地域の婦人会の方や町内会の方に協力して頂きます。	町内会に加入し、地域の情報を入手している。事業所主催の「ニチイ祭り」では、町内会婦人部が、盆踊りを披露している。利用者も踊りの輪に加わり、楽しみながら交流している。この様子は町内会の会報にも掲載された。2ヶ月に1回、ハーモニカ演奏のボランティアが来訪している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎年、町内会を通じ、地域との交流を深めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	関係機関各位様との折り合いがつかず、開催日程が延期してしまいがちなので、定期開催に勤めます。	運営推進会議は、家族会や防災訓練に合わせて開催している。4月の会議では、当該事業所で新設する認知症対応型通所介護について説明し、地域包括支援センター、家族、町内会それぞれの立場からの要望や助言を受けている。事業所、参加者の都合で定期的な開催が困難な状況になっている。	年間予定として日程を定め、定期的な開催する取り組みを期待します。

4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>地域ケアプラザ、市役所、グループホーム連絡会等、各関係機関と協力を心がけています</p>	<p>都筑区が主催する「認知症フォーラム」に協力して、利用者の作品を展示し、グループホームの紹介をしている。ケアマネジャーは、要介護認定更新代行などの機会に、区担当者へ事業所の現状を伝えている。運営推進会議や研修への参加を通して地域包括支援センターとの連携も深めている。横浜市グループホーム連絡会に参加し、勉強会や情報交換をしている。</p>	
---	--	---	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関するマニュアルを用意し、職員に周知しています。拘束は行っておりません。	契約書、重要事項説明書に「身体拘束その他の行動を制限しません」と明記している。今年度は、「スピーチロック」についての研修を行い、言葉による行動制限をしないよう周知を図っている。研修内容は、家族にも報告している。ユニット入口は安全面に配慮し、家族に了解を得て施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	当社のマニュアルを用いて職員への指導を行い、虐待防止に務めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者、ケアマネジャーは、成年後見人制度の必要がありそうなご家族様へのご案内のため勉強しています。現場スタッフは直接契約などに関わらないため、学ぶ機会がない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書の取り交わしの際に時間をかけて説明、対応を行なっています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月、近況報告書を送布しています。面会来訪時、家族会等でご家族の方から意見をいただいております。	家族からの意見や要望は、家族会や面会時に聞いている。ケアに関する要望など、即時に対応できそうなことは、職員間で話し合い、速やかに反映している。毎月、家族に宛てて、利用者の予定や様子を記した「近況のご報告」を送付している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務や、毎月の会議等で、現場からの意見を取り入れ、必要に応じ、支店の上司と連携を取り、現場職員の意見を反映する取り組みを行っております。毎月支店にて管理者会議を行っております。	職員の意見は、日々の業務の合間や毎月のホーム会議、ユニット会議で聞いている。管理者だけでなく、ケアマネジャーやユニットリーダーも職員からの意見を聞くよう努めている。カンファレンス前には、利用者に対しての気づきや話し合いたいことを書面で提案する機会を設けている。誕生日会などは、職員の意見やアイデアが活かされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアアップ制度で職員を評価し給与の引き上げの取り組みをしています。 毎月の会議時に環境改善に向けた取り組みを支店とも連携して対応しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時研修、適宜社内研修を行なっています。社外研修は、案内は職員に告知し希望があれば対応しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	横浜市グループホーム連絡会に入会し、各種講習会に参加しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族見学時、アセスメント時に、不安や要望を聞き、入居時に職員が状況を把握出来るように情報共有を行なっています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族見学時、アセスメント時に、不安や要望を聞き、入居時に職員が状況を把握出来るように情報共有を行なっています。ご家族様とは適宜連絡し、情報提供を行なっています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学時、アセスメント時に、不安や要望を聞き、入居時に職員が状況を把握出来るように情報共有を行なっています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人のペースにあわせて無理強いせず以前の生活に近い環境を用意し、信頼関係の構築を優先しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアプラン更新時、面会時等にご本人やご家族の要望や希望を伺い、近況報告時に、情報提供を行なっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や、本人からの謝絶の希望がある場合を除き、面会の制限はなく、外出、外泊なども自由に行なっていただいています。	入居時のアセスメントや利用者、家族からの聞き取りで馴染みの人や場の把握をしている。利用者が自宅に帰る際には、介護のポイントを家族に教え、双方が落ち着いて過ごせるよう支援している。知人や友人の来訪時には、お茶の接待をして歓迎している。電話の取り次ぎは、家族に確認してから対応している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者お一人お一人の性格や好みを介護者が把握し、適宜、間に入りながら、ご利用者同士の関係づくりをしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて相談、情報提供を行い、適宜対応しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎月開催のユニット会議にて、希望、意向の把握に努めています。新聞を希望されていた方は新聞を定期購読しています。	日頃の雑談の中から利用者の思いや希望を把握し、行事や誕生会の食事などに反映している。意向の把握が困難な利用者には、家族から話を聞いたり、表情の変化や仕草から推し測っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの情報や、センター方式を用いて、経過の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎月開催のユニット会議にて、現有能力の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月開催のユニット会議にて、情報収集を行い、ケアプランを作成しています。	介護計画は、利用者、家族の希望を踏まえ、カンファレンス前に職員から文書で出された情報、当日の話し合いの結果をもとにして作成している。利用者によって、短期では3ヶ月、更新時などに見直し、状況変化のあった場合は随時変更している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、連絡ノート等を用いて、日々の情報共有に努めて、介護計画の見直しに役立てています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に合わせた対応が出来る用意があります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	居場所、役割を考え、楽しく生活が出来るように支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の提携医の往診、毎週の訪問看護、提携医への通院等適宜対応しております。	内科、精神科の協力医が、月に2回、訪問診療に来ている。専門医への通院は、家族が対応し、受診結果は、管理記録や連絡ノートに記入し、職員間で情報を共有している。訪問看護、薬剤師の定期訪問もあり、利用者の健康管理、服薬指導をしている。希望者は、歯科の訪問診療、訪問マッサージを受けている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	密に報告、連絡、相談しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	最低でも週1度は面会に行き、情報収集、情報共有に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	社内規定で見取りに関する規定が無いため、常時の様子観察、適宜、医師や家族と話し合いをしております。ご退去や転居の必要がある場合にも早期に説明し、受け入れ先を探しています。	重要事項説明書等で、入居者の要件の一つとして「常時医療的管理を要する状態にないこと」を説明し、同意を得ている。事業所の体制など、その時々を踏まえ、利用者、家族、協力医と話し合いながら、重度化や終末期の支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命救急のマニュアルの用意が有り、勉強会などで対応できるように用意をしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	訓練が遅滞しがちなので、町内の消防団、消防署の方と連携し、適宜訓練を開催していきます。地域住民の方にも協力を要請します。	昨年の11月は、消防署の立ち会いの下で、夜間想定での総合訓練を行っている。今年度は、運営推進会議と併せて実施し、家族や町内会役員6名も参加して、避難誘導方法の説明を受けている。食料、飲料水、防災用品を備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様の尊厳と自立を守り、プライバシーに配慮した声かけが行えるように、適宜対応しています。	入社時に接遇、プライバシー保護についての研修を受けている。利用者を人生の先輩として敬意を払い、意思を尊重するよう努めている。訪問時、職員は、親しく話しながらも節度ある態度で接していた。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様本位の生活を営めるよう適宜努力しています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様本位の生活を営めるよう適宜努力しています			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的な訪問美容をはじめ、その人らしい身だしなみができるように取り組んでいます。お化粧品がお好きな方はメイクをされています。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日、食事の準備や、お片づけがお好きな方に、無理のない範囲でお手伝いをしていただいております。	献立付きの食材配達業者を利用し、職員が調理している。嚥下の困難な利用者は、業者が成型した介護食を使っている。数人の利用者は、配膳や後片付けなどを手伝っている。時々、希望の多いお寿司の出前や、飲食店の無料送迎バスを利用しての外出を楽しんでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは、食材業者の管理栄養士が計算しています。水分促しを適宜行い、飲水量の集計を行い、それぞれの状態を把握しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの誘導や、自力で行えない方の介助を行なっています。2週に1度、訪問歯科医による往診があります。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	それぞれの方の排泄リズムに合わせた時間での定時の誘導、排泄介助の取り組みを行なっております。自立されている方の羞恥心を考慮しています。	排泄チェック表を活用して、利用者ごとのパターンを把握し、タイミングにあった誘導をしている。自立に近い利用者には、食事前など定時の声かけ、見守りで対応している。トイレでの排泄を支援し、便座に座ってもらう時間を設けている。羞恥心に配慮し、利用者の状況に合わせて3ヶ所のトイレを使い分けている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	提携医と連携しながら、日々の排泄リズムを観察し、便秘になりやすい方への働きかけをしています。水分摂取の少ない方へは低カロリーの寒天ゼリーを促す等の工夫をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者様のタイミングで入れるように、毎日、希望があればいつでも入れるように用意をしています。拒否のある方には、快く入浴できる方法を模索し、入浴していただけるよう努めております。	入浴は、週に2回以上を原則とし、回数・時間とも利用者と相談しながら決めている。訪問時も、時節がら朝からシャワー浴をする利用者がいた。以前は入浴をしたがらなかった利用者も、信頼関係が生まれ、不安が解消された現在は、簡単な声かけ程度で応じてくれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中休みたい方には、適宜休んでいただいております。就寝時刻や起床時刻もそれぞれの方にあわせています。ただし、ほっておくと、寝続けてしまう方には適宜起床促しをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診や服薬指導等で医師や薬剤師の意見を参考にして、往診時に適した用途、適量の薬を処方していただいております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	炊事洗濯等が好きな方にはお手伝いを、おしゃべりの好きな方には、スタッフも交えて談笑する等、各入居者様に合わせた支援を心がけています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に合わせて散歩、買い物等の外出をしています。ご家族様と遠出をされる方もいます。全体外出事に関して、早期計画、安全確保の上での実現に努めております	近所の遊歩道を散歩したり、コンビニエンスストアへ買い物に出かけている。車の利用が制限されている中で、飲食店の無料送迎バスを利用して食事に出かけたり、事業所のオーナー宅で隣家のお花見をするなど、工夫しながら外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本は金庫にて保管させていただき必要時に買い物にいきます。手元に財布がないと不安な方には、ご家族の了承を得て、金庫とは別に、財布を用意しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の希望のある方には家族に連絡するお手伝いをしています。手紙を出される方は、文字が書きやすいようにサポートし、目が悪く読めない方には読んで伝えています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースを心地よく使用していただけるように努めています。なるべく雑音の無い様に配慮し、余計なものは置かないように心がけています。	居間、食堂は、安全な動線を確保しながら、落ち着いて過ごせるよう家具を配置している。台所は、対面式になっており、調理の音やにおいが感じられる。壁には、利用者の作品が飾られている。廊下の突き当たりにソファを置き、一人になれる場所が作られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	あらゆる危険に対する配慮を行ったうえ、見守りを行い、バルコニーから庭へお独りで出られたり、リビングのソファや居室でくつろぐ方もいます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に馴染みの品をもちよっていただき、居心地の良い居室環境づくりを心がけています。	居室は、クローゼット、エアコンなどが作り付けになっている。利用者は、それぞれ使い慣れたタンスやベッドを持ち込んでいる。生活感の溢れた部屋、ホテルの一室のような部屋、こざっぱりと家具を置かない部屋など、その人らしい居室づくりがされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー構造、滑りにくい手すり、居室やトイレの場所がわかりやすいように扉の種類を変えるなど、安全に配慮した作りになっています。		

事業所名	ニチイケアセンター 横浜南山田
ユニット名	ふるさと

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日の朝礼時にニチイ学館の社是の唱和を行っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年、町内会に参加し、地域との交流に努めています。町内会の文化部の方に毎年、夏の盆踊りのイベントに関して協力を依頼し、地域の婦人会の方や町内会の方に協力して頂きます。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎年、町内会を通じ、地域との交流を深めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	関係機関各位様との折り合いがつかず、開催日程が延期してしまいがちなので、定期開催に勤めます。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域ケアプラザ、市役所、グループホーム連絡会等、各関係機関と協力を心がけています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関するマニュアルを用意し、職員に周知しています。拘束は行っておりません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	当社のマニュアルを用いて職員への指導を行い、虐待防止に務めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者、ケアマネジャーは、成年後見人制度の必要がありそうなご家族様へのご案内のため勉強しています。現場スタッフは直接契約などに関わらないため、学ぶ機会がない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書の取り交わしの際に時間をかけて説明、対応を行なっています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月、近況報告書を送布しています。面会来訪時、家族会等でご家族の方から意見をいただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の業務や、毎月の会議等で、現場からの意見を取り入れ、必要に応じ、支店の上司と連携を取り、現場職員の意見を反映する取り組みを行っております。毎月支店にて管理者会議を行っております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアアップ制度で職員を評価し給与の引き上げの取り組みをしています。 毎月の会議時に環境改善に向けた取り組みを支店とも連携して対応しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時研修、適宜社内研修を行なっています。社外研修は、案内は職員に告知し希望があれば対応しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	横浜市グループホーム連絡会に入会し、各種講習会に参加しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族見学時、アセスメント時に、不安や要望を聞き、入居時に職員が状況を把握出来るように情報共有を行なっています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族見学時、アセスメント時に、不安や要望を聞き、入居時に職員が状況を把握出来るように情報共有を行なっています。ご家族様とは適宜連絡し、情報提供を行なっています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学時、アセスメント時に、不安や要望を聞き、入居時に職員が状況を把握出来るように情報共有を行なっています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人のペースにあわせて無理強いせず以前の生活に近い環境を用意し、信頼関係の構築を優先しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアプラン更新時、面会時等にご本人やご家族の要望や希望を伺い、近況報告時に、情報提供を行なっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や、本人からの謝絶の希望がある場合を除き、面会の制限はなく、外出、外泊なども自由に行なっていただいています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者お一人お一人の性格や好みを介護者が把握し、適宜、間に入りながら、ご利用者同士の関係づくりをしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて相談、情報提供を行い、適宜対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎月開催のユニット会議にて、希望、意向の把握に努めています。新聞を希望されていた方は新聞を定期購読しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの情報や、センター方式を用いて、経過の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎月開催のユニット会議にて、現有能力の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月開催のユニット会議にて、情報収集を行い、ケアプランを作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、連絡ノート等を用いて、日々の情報共有に努めて、介護計画の見直しに役立てています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に合わせた対応が出来る用意があります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	居場所、役割を考え、楽しく生活が出来るように支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の提携医の往診、毎週の訪問看護、提携医への通院等適宜対応しております。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	密に報告、連絡、相談しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	最低でも週1度は面会に行き、情報収集、情報共有に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	社内規定で見取りに関する規定が無いため、常時の様子観察、適宜、医師や家族と話し合いをしております。ご退去や転居の必要がある場合にも早期に説明し、受け入れ先を探しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命救急のマニュアルの用意が有り、勉強会などで対応できるように用意をしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	訓練が遅滞しがちなので、町内の消防団、消防署の方と連携し、適宜訓練を開催していきます。地域住民の方にも協力を要請します。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様の尊厳と自立を守り、プライバシーに配慮した声かけが行えるように、適宜対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様本位の生活を営めるよう適宜努力しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	ご利用者様本位の生活を営めるよう適宜努力しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的な訪問美容をはじめ、その人らしい身だしなみができるように取り組んでいます。お化粧がお好きな方はメイクをされています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日、食事の準備や、お片づけがお好きな方に、無理のない範囲でお手伝いをいただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは、食材業者の管理栄養士が計算しています。水分促しを適宜行い、飲水量の集計を行い、それぞれの状態を把握しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの誘導や、自力で行えない方の介助を行なっています。2週に1度、訪問歯科医による往診があります。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	それぞれの方の排泄リズムに合わせた時間での定時の誘導、排泄介助の取り組みを行なっております。自立されている方の羞恥心を考慮しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	提携医と連携しながら、日々の排泄リズムを観察し、便秘になりやすい方への働きかけをしています。水分摂取の少ない方へは低カロリーの寒天ゼリーを促す等の工夫をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者様のタイミングで入れるように、毎日、希望があればいつでも入れるように用意をしています。拒否のある方には、快く入浴できる方法を模索し、入浴していただけるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中休みたい方には、適宜休んでいただいております。就寝時刻や起床時刻もそれぞれの方にあわせています。ただし、ほっておくと、寝続けてしまう方には適宜起床促しをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診や服薬指導等で医師や薬剤師の意見を参考にして、往診時に適した用途、適量の薬を処方していただいております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	炊事洗濯等が好きな方にはお手伝いを、おしゃべりの好きな方には、スタッフも交えて談笑する等、各入居者様に合わせた支援を心がけています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に合わせて散歩、買い物等の外出をしています。ご家族様と遠出をされる方もいます。全体外出行事に関して、早期計画、安全確保の上での実現に努めております		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本は金庫にて保管させていただき必要時に買い物にいけます。手元に財布がないと不安な方には、ご家族の了承を得て、金庫とは別に、財布を用意しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の希望のある方には家族に連絡するお手伝いをしています。手紙を出される方は、文字が書きやすいようにサポートし、目が悪く読めない方には読んで伝えていきます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースを心地よく使用していただけるように努めています。なるべく雑音の無い様に配慮し、余計なものは置かないように心がけています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	あらゆる危険に対する配慮を行ったうえ、見守りを行い、バルコニーから庭へお独りで出られたり、リビングのソファや居室でくつろぐ方もいます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に馴染みの品をもちよっていただき、居心地の良い居室環境づくりを心がけています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー構造、滑りにくい手すり、居室やトイレの場所がわかりやすいように扉の種類を変えるなど、安全に配慮した作りになっています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 二千代アール-横浜南山田

作成日 2014.11.1

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	I	理念に基づく運営 現在は法人の社是 を朝礼時に唱和している が、事業所として目指す べき目標を明確化して いない。	各ユニットがそれぞれ 理念、目指すべきア ピールを明確化し、 具体的には理念を 作成していく。	ホーム会議にて、管理者 より提案(9月)あり。 さき各ユニットで話し 合ったり、2Fは作成終 了し掲示済、1Fは検討 中。	12月末まで に作成予定。
2	I	関係機関との折衝 の場としての運営推進 会議が定期的に開催 できていない。	年間行事などに合せ 定期的に開催していく。 また関係各位に(工早め) 連絡をし参加をうながし ていく。	12月6日にクリスマス会を 開催予定。その日に合せ 運営推進会議を開催 し得る。	2ヶ月。
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。